

B-13 不織布の接着に関する研究

大阪市大家政 ○広田輝次 林田堯美子

目的 不織布は最近、衣料とくに使い捨て衣料としての用途を広げつゝあるが、材料の性能に適合したデザインと加工の方法を考えねばならない。

本研究は使い捨て用衣料製作の目的で接着結合を行つた場合の性質について試験と検討を行つた。

方法 試料布としては湿式法による不織布を主として使用し、接着には溶融接着剤、エマルジョン接着剤、溶剤接着剤を使用して、面接着、線接着、点接着の三種の方法により接合を行つた。接着布の性質は主として強度、かたさ、ドレープ性について測定し、評価した。

結果 接着剤の種類および接着量によつて接着布の性能に影響がある外、接着条件とくに接着部の形状、分布によつて布の性質が大きく影響されることをたしかめた。

使い捨て用製品を目的物として考えた場合、強度的性質は必要範囲内にとり、外観、風合いの低下を少なくするには接着方法として線接着および点接着が有効であり、この方法による加工の可能性を知ることができた。